

以下、本文.....

小児完成腎疾患（CKD）患者における生後早期からの腎機能（eGFR）の推移に関する研究

1. 研究の対象

2016年2月から2023年3月までの間に、あいち小児保健医療総合センター腎臓科に受診歴され、血液検査で腎機能の評価を行った18歳以下の方

2. 研究目的・方法・研究期間

背景

子どもの腎臓の病気を診ていくうえで、腎臓の機能を評価することは欠かせません。日常診療では血液検査でクレアチニンという項目を測定し、その値を基に腎機能を推定し（eGFRといいます）、その値を用いて腎臓の機能を評価し、その推移を観察することが一般的です。

健康なお子さんのeGFRは、出生直後は低値を示し、その後徐々に上昇して1歳半～2歳頃に成人と同様な程度の腎機能になることが分かっています。しかし、腎機能が低い慢性腎臓病（CKD）のお子さんのeGFRが出生後にどのように変動するかは十分には分かっていません。

生まれて初めて腎機能を評価した際に、eGFR値が正常よりも低いお子さんの腎機能が、その後どのように変化するかどうかを予測することができれば、ご両親へ病状を説明したり、お子さんの治療方針を考えたりしていくうえで有用な情報となることが期待されます。

目的

今回の研究の目的は、1歳前から腎機能のフォローアップを開始したCKDのお子さんについて、その後にeGFRがどのくらいまで上昇するかを明らかにすることです。

研究方法

過去の診療録の中にすでにある情報を用いて研究を行います。

血液検査の結果から得られたeGFRの値の推移や関係を、統計学という手法を用いて分析します。

研究期間

倫理委員会の承認から 2025 年 3 月 31 日まで

3. 研究に用いる試料・情報の種類

生年月、性別、検査実施の年月日、血清 Cr 値、疾患名など

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、
研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

あいち小児保健医療総合センター

部署名 腎臓科 担当者名 藤田直也（研究責任者）

〒474-8710 愛知県大府市森岡町七丁目 426 番地

電話 0562-43-0500（代表）FAX 0562-43-0513

-----以上